
一番弱い長男日記。

蓮華永

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一番弱い長男日記。

【コード】

N81830

【作者名】

蓮華永

【あらすじ】

神楽家三兄弟のコメディ日常会話。

初めまして。神楽家の長男、白夜です。もう、タイトルからして酷過ぎると俺は思うんだけど。

それは置いておいて、タイトル通り、俺は長男ですが、弱いです。家族で一番強いのは、父である勺夜、次に母の緑蘭、次に次男の赤夜、次に三男の黒夜である。はい、俺は最後です。もう、母も父も呆れてます、俺に。

しょうがないじゃん！ 弱いものは弱いんだから！！ もう、どうしようもないことなんだよ、これは！！ もう、俺だって諦めますよ！！！！ 自分で言ってる、悲しくなった。本当に馬鹿だ、俺。

「そんな事前から知ってるよ。本当に馬鹿だなあ、兄さんは」

「それ励ましているつもりなのか!？」

「馬鹿は今に始まったことじゃないだろ、馬鹿弱白夜」

「勝手に人の名前変えないでくれる!!？」

「これが本当の名前だろうが。何言ってるんだ？」

「いやいやいやいや！ 黒夜が何言ってるの？ なあ、赤夜もそう

思うよなあ!？」

「あれ？ あつちが本当の名前じゃないの？ おかしいなあ・・・」

「何でそんなに真剣に考えてんの!? 考えなくてもわかるでしょうが!！」

「おい、何、兄さんに命令してんだ！ 弱白夜のくせに!！」

「それどういう意味!？」

とりあえず、俺は、全てにおいて、此の弟達に負けているのです。

(後書き)

はい、長男のくせに一番弱い、白夜君。
これ、人気があれば、違うタイトルで連載したいと思います！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8183o/>

一番弱い長男日記。

2011年10月8日03時07分発行